

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)  
 【**単独**・連携事業】

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	真岡市夏祭り花火大会 開催事業	総事業費	22,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000	110,000,000
		うち市町支出額	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	9,000,000
		うち県交付金	900,000	900,000	900,000	0	0	2,700,000
2	尊徳夏まつり開催事業	総事業費	8,700,000	8,700,000	8,700,000	8,700,000	8,700,000	43,500,000
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	30,700,000	30,700,000	30,700,000	30,700,000	30,700,000	153,500,000
		うち市町支出額	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	14,000,000
		うち県交付金	1,400,000	1,400,000	1,400,000	0	0	4,200,000

栃木県がまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市夏祭り花火大会開催事業
事業主体の名称	真岡市夏祭花火大会実行委員会
代表者の名称	藤枝 幸三
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市役所商工観光課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:真岡の夏まつりにおいて、五行川への入水神輿の明り取りの付け祭りとして花火大会を実施する</li> <li>・設立年月日:昭和43年</li> <li>・構成員等:真岡市花火大会の趣旨に賛同する市民等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>真岡市では、昭和20年代後半より、市中心部の荒町、田町、台町の3町が中心となり、地域主体の夏まつりが実施されてきた。毎年7月下旬の3日間行われ、中日にはメインイベントとなる花火大会を開催するなど、地域の老若男女が一体となった取組により、真岡の夏の一大イベントとして定着し、市内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>しかし、少子高齢社会の進展に伴い、本市においても人口減少が進み、将来的な祭りの担い手不足が懸念されている。祭りの衰退は、地域の活力の低下さらには若者の人口流出にもつながりかねないため、いかにして市外からの訪問者を増やし、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうか、が課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外から真岡市を訪れるきっかけをつくる。</li> <li>・来場者に真岡市に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。</li> <li>・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。</li> </ul>
事業概要	<p>本市最大の観光イベントとして、花火大会を実施する。</p> <p>【平成28年度】 例年多くの来場者がある花火大会を今年度も開催するほか、各目的に資するため、下線部の内容を追加し実施する。 《真岡市を訪れるきっかけ》 ◎真岡夏まつり花火大会の開催(平成28年7月23日(土) ※平成28年7月22日(金)～24日(日)の夏祭り期間 打上数2万発、音響・レーザーと連動した仕掛け花火やスターマインの打ち上げ ※同時開催・・・山車屋台9台と27基の神輿が一堂に会する「お祭り広場」、山車屋台9台による「ぶっつけ」、花火と同時に神輿が五行川を渡る「川渡御」 ○集客(広告・宣伝) ・チラシ32,000枚、ポスター4,000枚作成。JR高崎駅、JR水戸駅に掲示するほか、近隣市町への配布。 ・「下野新聞」「じゃらん(関東東北版)」「夏びあ(広域首都圏)」の紙媒体によるPR。また、<u>新たな冊子への掲載(『おでかけ栃木北関東3県』)</u> ・花火大会やお祭り関係のHPへの掲載。 ・とちぎテレビ、レディオベリーでの告知。 《真岡市に興味を持つ》 ○来場者に対し、真岡市の魅力PR・・・観光パンフレットの配布 ○シティブロモーションによる真岡市の魅力PR・・・本市が今年度より推進しているシティブロモーション(特に子育て世代をターゲットにしたプロモーション)において、夏祭りや、花火大会の様子もプロモーションの中に取り入れ、真岡市の魅力をPRしていく(今年度は初年度のため動画撮影)。 《地域の連帯感》 各町会が持ち回りで当番町会となり、当番町会が中心となって花火を含めた夏祭り全体を盛り上げることによって、地域の連帯感を生み、市外から訪れた人たちに真岡市の地域の連帯感、良さを知ってもらう。</p> <p>【平成29年度以降】 平成28年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる ・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等		花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等
事業費	22,000,000	22,000,000	22,000,000	66,000,000	22,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,800,000	1,800,000	1,800,000	5,400,000	1,800,000
うち県交付金	900,000	900,000	900,000	2,700,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	20,200,000	20,200,000	20,200,000	60,600,000	20,200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	小林 直子
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	真岡市夏祭り花火大会開催事業	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額	備考
市補助金	1,800,000	真岡市補助金
協賛金	20,000,000	花火協賛金(参考:企業、個人からのH27協賛金)
雑収入	200,000	祝金(参考:複数の団体からのH27祝金)、利息
計	22,000,000	

## 2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	285,000	0	0	285,000	アナウンス等謝礼
消耗品費	1,000,000	0	0	1,000,000	会場準備消耗品等
食糧費	1,257,000	0	0	1,257,000	会議、当日賄い等
通信運搬費	20,000	0	0	20,000	案内通知
広告料	1,200,000	1,200,000	600,000	0	真岡新聞プログラム 掲載 1,100,000円、 下野新聞広告 50,000円 他広告 50,000円
手数料	28,000	0	0	28,000	トイレ汲み取り料
保険料	40,000	0	0	40,000	煙火協会保険料等
委託料	15,000,000	0	0	15,000,000	花火打ち上げ
委託料	1,150,000	600,000	300,000	550,000	会場警備・清掃委託
使用料及び賃借料	390,000	0	0	390,000	仮設トイレ、テント リース
工事請負費	630,000	0	0	630,000	会場設営、電気工事
負担金	1,000,000	0	0	1,000,000	「真岡の夏祭り」の中で花火大会を開催することによる負担金
計	22,000,000	1,800,000	900,000	20,200,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	尊徳夏まつり開催事業
事業主体の名称	尊徳夏まつり実行委員会
代表者の名称	柴山 和之
事業主体の所在	〒321-4521 真岡市久下田848-5 にのみや商工会内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:夏祭りを実施することで、ふるさと意識を高揚し、市の活力を醸成し、市発展に寄与することを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成21年</li> <li>・構成員等:にのみや商工会、二宮地区区長会、二宮地区地域公民館連絡協議会、JAはが野、二宮地区こども会育成会連絡協議会、真岡市青少年クラブ協議会、尊徳太鼓保存会、等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>真岡市は、旧二宮町が旧真岡市に編入合併する形で誕生した市である。それぞれの市町では、合併前から様々な地域行事が行われてきたが、中でも町民が一体となって取り組む旧二宮町の花火大会は、世代を越えた町民同士の交流が図られる重要な場であるとともに、地域の行事として愛されていた。合併後も、地域融合の証し、地域住民の誇りとして存続させたいという思いから、平成21年に町民が中心となり実行委員会を立ち上げ、さらに祭りの名に郷土ゆかりのある「尊徳翁」の名を付けて開催を継続してきたところ、近年では、市外からも多くの観光客が訪れ(平成27年度8万人)、真岡の5大夏祭りの1つとして定着している。</p> <p>その一方で、真岡市の人口減少に伴い、旧二宮町地区でも少子高齢化が進み、将来的な祭りの担い手不足のほか、街としての機能の衰退が懸念されている。旧真岡市との地域融合を図りつつ地域住民の誇りとして継続させてきた祭りの衰退は、地域の活力低下、若者の人口流出を助長しかねない。そのため、いかにして真岡市(二宮地区)への訪問者を増やし、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうか、が課題となっている。</p> <p>※ 真岡の5大夏祭り・・・久下田祇園祭、真岡の夏祭り、もおか木綿踊り、灯ろう流し、尊徳夏祭り</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真岡市(二宮地区)を訪れるきっかけをつくる。</li> <li>・来場者に真岡市(二宮地区)に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。</li> <li>・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>近年来場者が増えている尊徳夏祭りを今年度も開催するほか、下線部の内容を追加実施する。</p> <p>《真岡市(二宮地区)を訪れるきっかけ》</p> <p>◎尊徳夏まつりの開催(平成28年8月27日(土))</p> <p>花火大会の実施。目玉は、会場から至近距離で打ち上げられる尺玉</p> <p>郷土芸能大会、ふれあい広場(模擬店、おたのしみ抽選会)、オープニングセレモニー、納涼盆踊り大会の実施</p> <p>○集客(広告・宣伝)</p> <p>首都圏からも人が訪れるイベントでのPR(「いちごまつり」(5月に真岡市で開催)や栃木SC真岡市民デーの会場でブース設置)</p> <p>ポスター、チラシを1,000部作成し、市内外の協賛者へ配布、公式WEBサイト、ツイッター</p> <p>新たな冊子への掲載(『おでかけ栃木北関東3県』)</p> <p>《真岡市(二宮地区)に興味を持つ》</p> <p>○来場者に対し、観光パンフレットの配布</p> <p>○子育て世代をターゲットにしたプロモーションにおいて、夏祭りや、花火大会の様子もプロモーションの中に取り入れ、真岡市の魅力をPRしていく(今年度は初年度のため動画撮影)。</p> <p>《地域の連帯感》</p> <p>○郷土芸能大会において、地域ならではの芸能(尊徳太鼓など)を披露することで、地域の連帯感を醸成するとともに観光客にも地域の良さをアピールしていく。</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>平成28年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</li> <li>・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人</li> </ul>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	尊徳夏まつり 8月27日(土)開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会	尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会	尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会		尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会
事業費	8,700,000	8,700,000	8,700,000	26,100,000	8,700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	7,700,000	7,700,000	7,700,000	23,100,000	7,700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	小林 直子
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	真岡市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	尊徳夏まつり開催事業	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額	備考
市支出金	1,000,000	真岡市補助金
補助金	30,000	観光協会補助金(花火打ち上げ費の補助)
協賛金	7,500,000	花火協賛金(参考:企業、地場企業、個人からのH27協賛金)
繰越金	168,727	夏まつり運営対策費繰越金
雑収入	1,273	利息
計	8,700,000	

## 2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	135,000	0	0	135,000	出演謝礼等
消耗品費	285,000	0	0	285,000	抽選会商品代等
食糧費	135,000	0	0	135,000	準備、片付け、当日等食料費
印刷製本費	71,000	70,000	35,000	1,000	ポスター印刷代 @66×1,000枚×1.08
光熱水費	23,000	0	0	23,000	照明用発電機燃料
通信運搬費	150,000	0	0	150,000	通話料、郵便料
広告料	410,000	410,000	205,000	0	プログラム真岡新聞掲載 400,000円 HP掲載 10,000円
手数料	25,000	0	0	25,000	し尿処理手数料等
保険料	21,000	0	0	21,000	障害保険等
委託料	4,500,000	0	0	4,500,000	花火打ち上げ
委託料	1,190,000	110,000	55,000	1,080,000	警備等委託
使用料及び賃借料	785,000	410,000	205,000	375,000	音響設備 415,000円 放送ブースプレハブ、仮設ト イレ 370,000円
工事請負費	880,000	0	0	880,000	会場内仮設電気工事
原材料費	90,000	0	0	90,000	会場整備原材料等
計	8,700,000	1,000,000	500,000	7,700,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合